

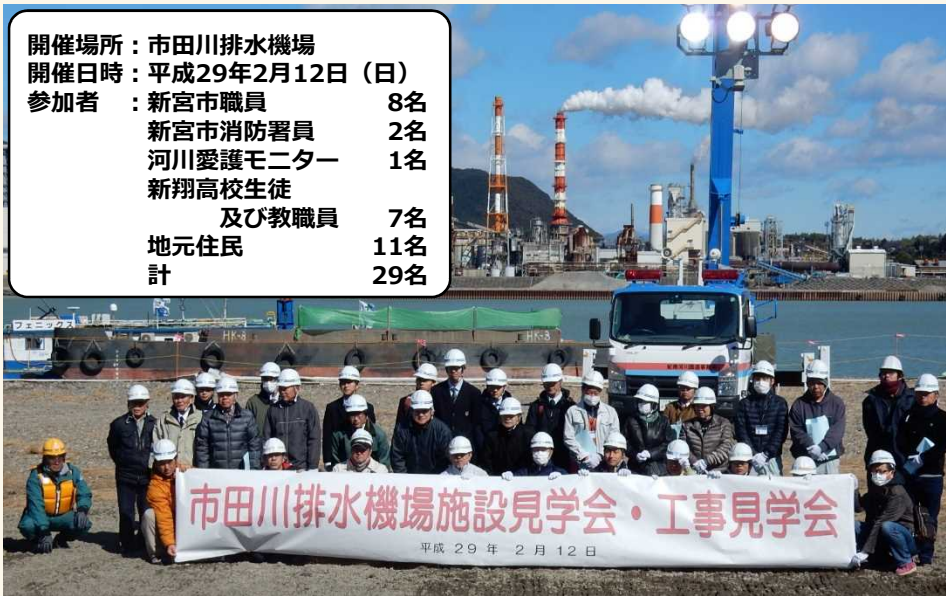
市田川水門・市田川排水機場が完成から30年の節目を迎えました

— 紀南河川国道事務所 —

国土交通省は、完成してから一定の期間を経過した治水施設について、地域の方々と生い立ちを振り返り、施設が果たしてきた役割や水害リスクについて再認識していただくため、施設見学会を実施する「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。

昭和57年の洪水被害を契機に整備された市田川水門と市田川排水機場が完成から30年を迎えたことから、市田川排水機場の施設見学会を開催しました。

開催場所：市田川排水機場
 開催日時：平成29年2月12日（日）
 参加者：新宮市職員 8名
 新宮市消防署員 2名
 河川愛護モニター 1名
 新翔高校生徒及び教職員 7名
 地元住民 11名
 計 29名



市田川水門・市田川排水機場 工事完成30周年説明会 概要

- ・市田川水門および市田川排水機場の役割・効果について
- ・市田川水門および市田川排水機場の操作について〔見学〕
- ・市田川水門および市田川排水機場のポンプ設備について〔見学〕
- ・災害対策用機械について
- ・熊野川河道しゅんせつ工事について〔工事見学〕

市田川水門・市田川排水機場

施設完成：昭和61年
 設置目的：熊野川本川からの洪水の逆流防止、高潮対策（市田川水門）
 市田川水門閉鎖中の市田川水位を計画高水位以下に維持（市田川排水機場）



水野所長による開会のあいさつ



職員による説明を聞く参加者



職員による施設の説明



災害対策用機械の説明

★参加者の感想

- ・国と新宮市が連携して浸水対策を行っていることが説明を聞いて良くわかった。
- ・発動発電機が準備されていて、停電になってもゲートやポンプが作動するように対策がされていることを聞いて安心した。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 紀南河川国道事務所 調査第一課
 TEL：0739-22-4813